

# 三鷹駅北口街づくりニュース 第5号

(研究会(第3回)・庁内・アドバイザー委員会号)

## ■ 研究会報告書(案)の取りまとめ状況について

・駅前広場を設計する際は、長期・固定的な運用だけでなく、短期的に構造変更可能な設計が必要ではないか。利便性やにぎわいだけでなく、新しい移動手段の実用化や公共交通車両の規格変更等の急な変化にも対応できるよう考える必要がある

・駅前広場の2ロータリー化は他の地域でも整備事例がある。また、駅前広場でイベント等を行うことでにぎわいを作っている例もみられる

・人中心のウォークラブルなまちを目指すうえで、交通手段が自家用車から自転車に変わることが肯定的に捉えるべきではないか

・駐車場の附置義務制度は個々の建物に対するルールであるが、地域レベルで適用する考えもあるのではないかと

・自転車については、周辺自治体も含めた広域的な視点で考える必要がある

・通勤・通学の自転車利用はコロナ禍においてもなくなることはなく、外縁部に自転車駐車を設け、駅まで歩く方針は堅持すべき

・電動キックボードのような1人乗りのコンパクトな移動支援機器は短い移動を担う交通手段として普及する可能性がある。これまでの自転車利用とは異なるため、これらのポート配置については別途議論すると良い。議論にあたっては安全性が最優先であり、動線は課題となる

・求める交通環境を実現させるために、建て替え時の規制や誘導の方針をどのように作るかが重要である。例えば、駐車場の附置義務制度について、規制の強化や緩和、誘導のメニューを交通環境の観点で検討すると良い

・「三鷹駅に新しい交通環境をつくる」という新しさがあると良い

## ■ 今後の進め方について

・ロードマップでは主に公共空間の在り方が示されているが、私有地の空間の在り方も合わせて考える必要がある

・公共空間を整備する際には、沿道の私有地と調整して整備すると良い。例えば、駅前広場を含めて再開発する場合、駅前広場の空間についての認識を調整するためにも、行政が意見を言える中立的な立場の組織を作ると良い

・まち歩きを行いながら、移動に配慮が必要な人や支援している人たちの意見を聞くような、インクルーシブな考え方を持った検討の場を設けてもらいたい。これからの議論では多様性を踏まえた意見を引き出すことが重要である

・三鷹駅南口で再開発の動きがあると、駅利用者が増え、人流が錯綜するため、三鷹市と調整すると良い。また、歩調を合わせた対外的な発信も重要である

・議論の場に先進技術を取り入れると良い。AR(拡張現実)やデジタル地図を活用すれば、現実と計画を融合させながら議論ができる

## 今後の予定

	開催時期	実施内容・検討テーマ
研究会(第4回)	1月27日	報告書の取りまとめ・今後の進め方

「基本的な考え方」や各取り組みの資料・記録は市のホームページでご覧いただけます

右記の二次元バーコードをスマートフォン等で読み取っていただき、市ホームページでご覧いただけます。

資料・記録



https://bit.ly/3js97IS

### <問い合わせ>

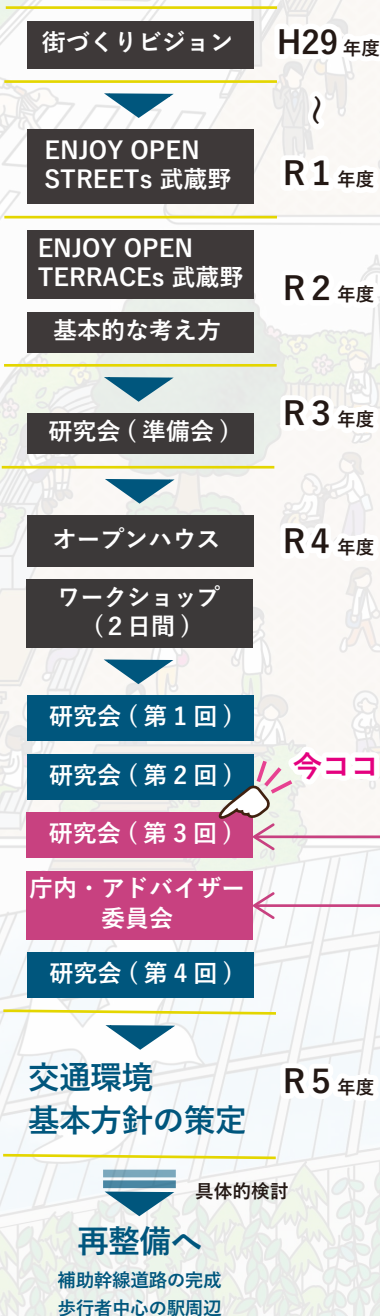
武蔵野市 都市整備部まちづくり推進課  
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28  
武蔵野市役所東棟4階  
電話 0422-60-1872 FAX 0422-51-9250

## 関係団体による研究会や庁内・アドバイザー委員会を開催し “歩行者中心”の交通街づくりについて意見交換を行っています

「三鷹駅北口街づくりビジョン」で描く目指すべき街の姿「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」の実現に向けた取り組みを進めています。

今後の駅周辺の再整備に向けて、“歩行者中心”の交通街づくりについて関係団体による研究会や庁内・アドバイザー委員会を開催し、検討を進めています。今回は研究会(第3回)と庁内・アドバイザー委員会での意見交換の内容をご紹介します。

## 検討プロセス



ここでは、これまでとこれからの取り組みを紹介します。これからの取り組みでは「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた考え方(以下「基本的な考え方」)」に示す、交通環境の課題とその解決に向けた4つの考え方をたたき台として、検討を進めていきます。



### これまでの取り組み

#### ■ 三鷹駅北口街づくりビジョン

概ね10年後の将来の目指すべき街の姿を描き、交通環境、土地利用、緑・にぎわいの3つの視点で実現に向けた取り組みを定めました。



#### ■ オープンハウス

地域のイベントに合わせてブースを出展し、パネルによる「基本的な考え方」の情報発信や意見収集を行いました。



#### ■ ワークショップ

市民の皆さまから参加者を募り、グループワーク形式で参加者同士が意見交換を行いました。



#### ■ ENJOY OPEN STREETs 武蔵野

地域の企業や団体と連携し、かたらいの道、桜通り等の公共空間を、車両通行止めにし、歩行者中心のにぎわいエリアとする社会実験を行いました。



#### ■ ENJOY OPEN TERRACEs 武蔵野

沿道店舗と協力し、歩道上に客席を設置することで、日常的に街なかでの食事や、ちょっとした休憩ができるような、滞留空間をつくり出す社会実験を行いました。令和4年度も実施しました。



### これからの取り組み

#### ■ 関係団体による研究会 **New**

三鷹駅北口周辺の関係団体の皆さまと意見交換を行っています。この結果を市で報告書として取りまとめます。



#### ■ 庁内・アドバイザー委員会 **New**

地域展開の報告書や地権者のご意向等を踏まえ、学識経験者から助言をいただきながら交通環境基本方針を検討します。



